

# 5章 (情報教育における) 模擬授業 の計画と学習評価・教員評価

# 模擬授業の目的

- 授業**経験を増やす**こと
- 1コマをどう展開するか
  - **時間**配分
  - **力点**の置き方
  - 利用する**教具・教材の妥当性**の確認
- イメージングシミュレーション
  - 授業直前に実施するイメージング
  - 一つの単元、通年の授業計画をイメージ

# 「情報」の教員に要求されること

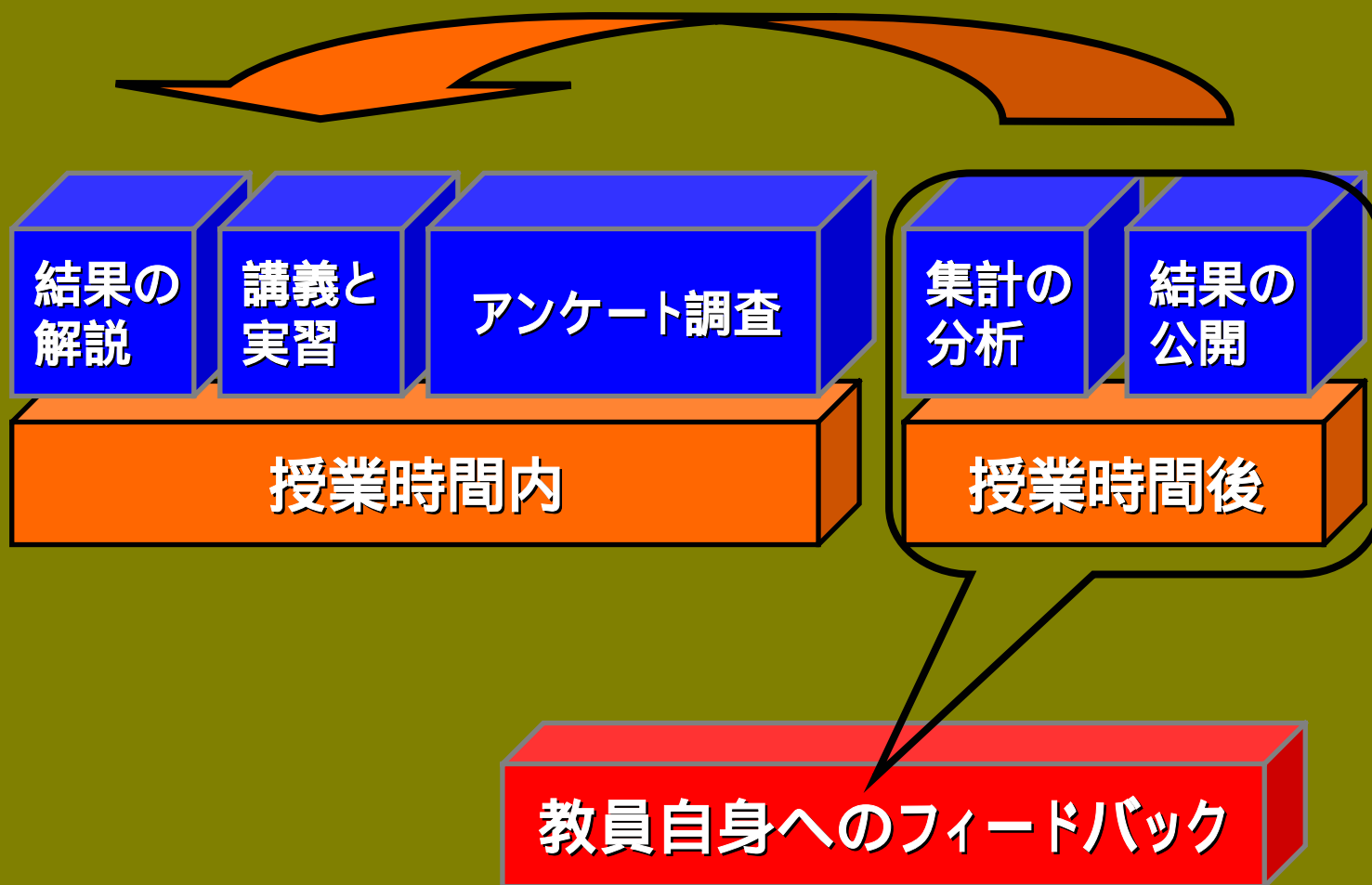
- 失敗を恐れない
  - なぜうまくいかなかったのか？
  - 経験が乏しければ、失敗は当たり前
  - 原因を**冷静に分析**
- たゆまない**研究**と高い**創造性**
  - 常に**初心者**である
- その他
  - **生徒の立場**で分かりやすく知識を与える
  - 生徒の**モチベーション**を向上させる雰囲気作り
  - カタカナ語の連発、**知識の誇張**に要注意！

# 模擬授業の評価

- 教員側からの評価
  - 謙虚かつ真摯に受け止める
- 生徒側からの評価
  - 授業後のアンケート
  - 改良されるべき点が浮き彫りになる設問の準備
- 常に評価される
  - 評価を受け止める姿勢
  - 「生徒と一緒に学んでいく」という姿勢が重要
  - 「自分の言うことに間違いはない」という姿勢 ×

# アンケート調査の流れ

学生相互へのフィードバック



# 情報教育における評価方法

- 知識習得型の学習(これまでの学習形態)
  - 知識を教え込む
  - 「指示待ち型」の生徒が多く発生
- 自分で解決方法を模索(これからの学習形態)
  - 自ら問題を発見
  - 自ら解く
- 評価方法
  - 学習評価についての研究はこれから
  - 答えにたどり着くまでのプロセスの評価
  - 「相対評価」から「絶対評価」へ

# 評価に関する事例

- ポスターやWebページの作成
  - 見栄え、美しさだけの評価？
  - 音や動画などの派手さだけの評価？
- 実習の多い科目
  - 授業前後の技量の差を評価
  - 知識の共有化を評価
- 過度なコンピュータの利用
  - 紙の配布資料で十分な場合もある

# 生徒の相互評価

- 評価項目の例

- 伝えるべき十分な発表内容があるか
- 使っている資料は正確で適切か
- 話し方、声の大きさ、スピードは良いか
- 身振り、手振り、指示棒の使い方は有効か等

- その他

- ビデオを見せ、自己分析させる
- 聴衆のコメントを見せる



# 教員の自己点検と授業評価

- シラバス(年間授業細目)の公開
    - 紙, Webページの活用
    - 電子メールを活用した生徒とのコミュニケーション
  - 他の教員の評価
    - 指導案、教材をお互い見せ合う(批評する機会)
  - 外部の評価
    - 研究会、シンポジウムへの参加(情報の収集)
    - 良い事例は積極的に真似る
    - 積極的に実践報告を行う
- 授業への自信

- **情報処理教育研究集会 (文部科学省)**
  - 平成14年度 <http://conf2002.itc.u-tokyo.ac.jp/>
- **情報教育シンポジウム (情報処理学会 CE)**
  - 平成14年度  
<http://ce.decode.waseda.ac.jp/SSS2002/>
- **コンピュータ利用教育協議会**
  - <http://www.ciec.or.jp/>
- **日本工学教育協会**
  - <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsee/>
- **日本教育工学会**
  - <http://www.japet.or.jp/jet/>
- **日本教育工学振興会**
  - <http://www.japet.or.jp/>